

夢への道のり

4月～12月(30時間)

1 ねらい

- ・自分の生き方や将来について考えるにあたり、資料やインターネットによる情報収集、聞き取り調査、体験活動など幅広い方法で調べる力を育てる。
- ・身近な人への聞き取り調査や職場見学を通して、働くことの意義や大変さなどを理解し、その職業に就くまでの道のりを考え、実践することができる。

具体的な手立て

- ①身近な人への聞き取り調査や調べ活動、職場見学など多方面から夢や職業について考えさせる。
- ②職場見学を行い、実際の職場の雰囲気を感じたり、「働く」ということを深く学ばせたりする。
- ③まとめや発表を充実させ、自分の夢を具体的に考える場や友達の意見を聞く場を設定する。

2 実践の概要

(1) 身近な人の仕事について聞き取り調査をしよう

「働くこと」とはどんなことを考えさせるにあたり、まず身近な人への聞き取り調査を行った。父親や母親に、仕事の内容やその仕事を選んだ理由、良かったことや大変なことなどを聞き、発表した。同じような仕事でも、人によってやりがいや苦勞の感じ方が違ったり、自分たちの知らない職種も紹介されたりして、子ども達の「仕事」への関心が高まった。

【システムエンジニアの父親に聞き取り調査をしたA子の活動後の感想】

私はお父さんがみんなのことを思って仕事に取り組んでいるのを知って、すごいと思いました。みんなのためになるのだから大変でもがんばれるのだなと感じました。苦勞することも多いけれど、家族のためにがんばってくれていることを知り、もっと感謝しないといけないなと思いました。自分の好きなことを仕事にできるのはいいなと思います。

(2) 伝記やインターネットで偉人の生き方や職業を調べ、紹介しよう

「偉人」と呼ばれる人たちが、どのように自分の夢をかなえていったのかを調べることにした。夢をかなえるためには挫折や苦勞もある。良いことばかりではないけれど、信念を持って自分の決めた道を歩んでほしいと思い、この活動を行った。

(3) 自分を知ろう

夢をふくらませ、実現に導くためには自分を知ることが大切である。夢が見つからない児童も多くいたので、まずは自分を見つめ直す意味で、好きな言葉、宝物、長所、目標となる人などを明らかにした。

(4) 職場見学に行こう

学区内や学区周辺で、自分の夢、就きたい職業、興味のある職業の職場を探し、職場見学を行った。希望別にグループを作り、事前に自分たちが知りたいことを話し合い、質問事項をまとめた。電話で依頼をし、見学や質疑応答など1時間程度の活動を行った。この活動で、自分の思い描いたものと現実との違いを感じたり、仕事のやりがいや厳しさを知ったりすることができた。子ども達は見学を終えて、「働くこと」について感じたことを画用紙にまとめた。職場見学をして、自分の夢や生き方がはっきした子どもも少なくなかった。

(5) 夢への道のりを考え、まとめよう

職場見学行い、その後、夢をかなえるまでの道のりを具体的に考えた。その職業に必要な資格はあるのか、夢をかなえるために今努力すべきことは何なのかはっきりした。

3 実践を振り返って

A子はまとめで「これから夢に向かってできることをがんばってやっていきたい。将来はどんな仕事についても、相手のことを思って働きたいと思った」という感想を書いた。この実践で将来について考えたり、働くことへの関心を高めたりすることができた。この活動を実生活に生かすことが課題として残ったので、今後は「より良い生き方」に重点を置き、実践を進めていきたい。

職場見学の様子



夢への道のりのまとめ